

■ 武士道を更に基督教化し / 24巻 p.619-620 大正7年5月5日 「教友」2号 口述
世界で最も尚^{たふと}ぶべきものは武士道であります。その武士道の基督教化されたものは、より一層尚ぶべきものである、というのが私の持論であります。それと同じやうに、世界の婦人で最も尚ぶべきものは日本の婦人で、基督教化された日本婦人は一層貴いものであります。

基督教が外教^{くわいけう}であるといふやうなことを顧慮する時代は既に過ぎ去りました。此の教えが世界の教え、人類の教え、すべての宗教のなかで最も高く深く大なるものであるとふことを知ると共に、我が国民の上に、婦人の上にこの教えを施して、世界第一等の国を造る本源としたいものであります。ですから誤まれる基督教、浅薄なる基督教、例えば個人主義的の基督教の如きものを女子教育の最善なものと思つてゐる外国宣教師には、日本婦人の特質をよく研究して貰^{もら}ひたいし、これらの誤まれる教えによつて感化された女子の行為をのみ見て基督教の全般を知らない人には、をの誤見を棄て、各共に我が国の婦人をより完全に教導するために、正しい愛に基づく基督教の必要なることを覺つて貰^{もら}ひ度いのであります。

■ 武士道と基督教 / 24巻 p.8 大正7年1月10日「聖書之研究」210号

我等は人生の大抵^{たいてい}の問題は武士道を以て解決する、正直なる事、高潔なる事、寛大なる事、約束を守る事、借金せざる事、逃げる敵を逐^おはざる事、人の窮境に陥るを見て喜ばざること、是等の事に就いて基督教を煩はすの必要はない、我等は先祖伝来の武士道に依り是等の問題を解決して誤らないのである、然れども神の義に就き、未来の審判に就き、而して之に対する道に就き武士道は教ふる所が無い、而して是等の重要なる問題に逢^{ほう}着^{ちやく}して我等は基督教の教示を仰がざるを得ないのである、基督信者たる事は日本武士以下の者たる事ではない、先^まず上杉謙信たり、加賀の千代たりて然る後に更に其上に信望愛の美質を加えらるゝ事である、模範的^{モダン}猶太人たりしヨハネやパウロが模範的基督者たるを得たのである、武士道を棄て、または之を軽んずる者が基督の善き弟子でありやう^はす^が無い、神が日本人より特別に要求め給ふ者は武士の靈魂にキリストを宿らせまつりし者である。

■ 武士道と基督教 / 31巻 p.292-297 昭和3年10月10日「聖書之研究」339号

八月廿六日札幌に於て

ピリピ書四章八節

基督教は神の道であります、武士道は人の道であります。神の道は完全であつて、人の道は不完全であるは云ふまでもありません。そして人の道は神の道に似寄る^たけそれ丈け完全なるのであり

ます。武士道は日本人の道であります。之を日本道徳と称して間違ないと思ひます。そして私供日本人に取りては実に尊い道でありまして、私供が神の道を知るまでは、実に世界無二の道でありました。然し乍ら「全き者来る時は全からざる者廢るべし」とあります通り、完全なる神の道が現はれて不完全なる武士道が廢れし感なき能はずであります。基督信者に成りて武士道を唱ふるが如き、異端の如くに聞えます。曾つて或る米国宣教師が武士道は腹切と敵討を教ゆる道であると云ひて、私の行為を詰つた事がありますやうに、基督教は武士道の敵である乎のやうに思ふてゐる基督信者が尠くないのであります。

然し乍ら私はさうは思ひません。私は武士道は神が日本人に賜ひし貴き光であると信じます。縦し夜を司る為の小なる光であつて、昼を司る為の大なる光で無いにしても、貴き感謝して受くべき光たるを失ひません。武士道は切腹と敵討ばかりではありません。其内に基督教に似寄りたる多くの貴き教があります。私供日本人が初めて基督教に接して強く之に牽かるゝ理由は茲に在ります。基督教に日本人の心に強く訴ふる所があるからであります。多くの点に於いてイエスと其弟子とを武士の模範として見る事が出来るからであります。日本人も亦神の造りたる者、其意味に於て神の子であります。そして神は「自己を証し給はざりし事なし」とあります通りに、彼は我等日本人にも御自身を証し給ひて、其光の一部分を示し給ひました。私は信じます、武士道は神が日本人に賜ひし最大の賜物であつて、是れがある間は日本は栄え、是れが無くなる時に日本は亡ぶるのであると。

武士道は正直を重んじます。眞の日本人の嫌ふものにして詐欺陰険の如きはありません。日本人は左のパウロの言を読んで強く共鳴せざるを得ません。

恥づべき隠れたる事を棄て、詭譎を行はず、神の道を混さず、眞理を顕して神の前に己れを凡ての人の良心に質すなり（コリント後書五章二節）

と。公明正大と云ふは此事であります。そして凡ての預言者、凡ての使徒が然らざるはなしであります。聖書は何んで有つても、何んで無くつても、誠実の書であります。之に恥づべき、隠れたる悪しき謀計を可とする所は何処にもありません。モーセを初めとして、イザヤ、エレミヤ、エゼキエル、ダニエル、アモス、イエスは勿論のこと、パウロ、ヨハネ、ヤコブ、孰れも特に正直の人でありました。彼等に方便又は策略は塵ほどもありませんでした。彼等は此世の俗人輩が堪へられぬまでに透明正直でありました。故に若し日本人が正直を愛するならば彼等は基督教の聖書に学ぶべきであります。日本の国学者が全体に仏教を嫌ひし理由は、その説く所が率直を欠き、人を悟覚に導く為に多くの如何はしき方法即ち方便に由つたからであります。然し乍ら基督教には之がありません。キリストの教訓は曾つてエヴルトが曰ひしが如くに「地より直に湧き出る水晶の如き泉の水」でありまして、之に接して私供は何の説明をも要せずして、直にその宇宙の大眞理なるを知るのであります。

武士道と云えば直に勇氣を思はせられます。乃木大将、東郷大将、其他我国古今の歴史を飾る兵士烈婦の行為は国の礎また民の誇りであります。日本人は義の為には死を恐れませんが、日本人が賤しむものにして卑怯の如きはありません。義を視て為ざるは勇なき也であります。赤穂義士四十七人の行績が永久に称えらるゝは彼等に此勇氣があつたからであります。そして之に対して基督教は何を教へます乎。基督教は愛を説くが故に勇氣に欠けたる女々しい教であると多くの人は思ひます。然し乍ら深く聖書の泉に真理の水を汲んだ者は決してそんな思考を懐きません。世に若し女性的基督教がありますならば、之に対して男性的基督教があります。教主イエスキリストは単に罪人を憐み、罪は「^{ことごと}く之を見逃して、たゞ^{ひと}単へに彼等を済度せんと欲するやうな、そんな軟弱なる人ではありません。

イエス、エルサレムに上り、^{みや}神殿にて牛羊^{はと}を売る者と両替する者の坐せるを見れば、縄をもて鞭を作り、彼等及び羊牛を神殿より逐出し、両替する者の金を散らし、其台を倒し、鴿を売る者に曰ひけるは、此物を取りて往け、我父の家を商売の家とする^{なか}勿かれ(ヨハネ伝二章十三 - 十六節)と。是は優しいイエス様ではなくして怖い恐ろしいイエス様であります。イエスは阿弥陀様とは異ひます。彼に所謂「^{いわゆる}小羊の憤怒」がありました。彼は義の為に^{あたつ}神殿を^{かお}潔むるに^{おそ}方て人の面を懼れませんでした。

イエスは亦伝道の^{かどて}首途に於てナザレの村の人々に迫害せられし時に、手向ひもせず、逃げもせず「イエス彼等の中を通過して去りぬ」とありまして、悠然として荒れ狂ふ敵の中を通り過ぎて去れりとの事であります。是は関ヶ原の戦争に於て西軍の島津兵庫頭が取つた道でありまして、武士として最も勇敢なる行為であります。其他福音書に現はれたるイエスの行為を調べて見まして、彼が死を懼れ、人を畏れた場合に一も見当りません。只人が彼の勇氣に氣附かざる理由は、彼が愛の人であつて、自から剣を取つて人に向ひ、敵を斃して自己を救ひし^{ためし}例が^{みずから}一も無いからであります。

誠にイエスの特殊の勇氣は彼が全然独り立つて、身に寸鉄を帯びずして独り敵に対した事に於て有ります。此は非常の勇者にあらざれば為す能はざる所でありまして、此点に於いて此世の勇者の何人もイエスに及ばないのであります。そしてイエスに限りません、聖書が示す所の神の人は凡て此種の勇者であつたのであります。ヘブライ書十一章の示す所の信仰の勇者は凡て単独の勇者でありました。彼等は孰れも隊を組み、同僚の士氣に励まされて敵に向かつた者ではありません。只一人真理と正義の為に大敵を前にして身を^{いかり}其憤恚に曝らした者でありました。武士道と基督教とを^{くら}較べて、勇氣が有つたと無かつたとの相違ではありません。基督教の供する勇氣が武士道の供する勇氣に遙かに優つてみたのであります。そして其勇氣が伝はつて今やアムンセン翁の極地探険又は我が野口英世博士の黄熱病々源の研究に現はれたのであります。日本人に正義と真理との為には生命を惜まざるの精神があります。此精神を以つて基督教に接して、我等は其犠牲の精神に共鳴せざるを得ないのであります。若し偏見を去り、悪名を忘れて、日本武士が基督教に対しますならば、彼

等は自づから之に牽かれてイエスの忠実なる僕^{しもべ}ならざるを得ないので。そして明治の初年に当たつて多くの日本武士が此精神にと由りて基督信者に成つたのであります。沢山保羅、新島襄、本多庸一、木村熊二、横井時雄等は凡て純然たる日本武士でありました。彼等はイエスの武士^{かたぎ}氣質に牽かされて其従僕と成つたのであります。教養や信仰箇朱は彼等に取り後の問題でありました。彼等は孰れも先づイエスの武士らしき人格に憧憬^{あこが}れたのであります。私は信じます、イエスがタルソのパウロを弟子として持ち給ひし以来、以上の日本武士の如き端的にして武俠的な弟子を持ち給ひし事はないと信じます。日本武士は最上の基督信者を作るとは世界の公評であると思ひます。

武士は恥を重んじます。四十七士の一人^{はざま}間光定の辞世の歌に曰く

都烏いざこと問はん武士の

恥ある身とは知るや知らずや

と。恥を取らんよりは寧ろ死ぬるに若かずとは武士の精神であります。そしてイエスの最大の弟子のパウロは曰ひました

我が誇る所を人に^{むなし}虚くせられんよりは寧ろ死ぬるは我に善き事なり(コリント前書九章十五節)と。パウロも亦、恥よりも死を択びました。彼は高貴なる理由なくして何人にも頭を下げませんでした。彼は日本武士に対するユダヤ武士でありました。

武士は遁げる敵を逐ひません、敵の弱きに乗じて之を攻めません。戦はざるを得ざる場合には正々堂々と戦ひます。上杉謙信が武田信玄と争ふに方つて敵国に塩を供給せしは克く知れ渡りたる事実であります。歐洲大戦争の時に、所謂基督教国が相互に敵の糧道を断ち、甚だしきに至つては小児に供給する牛乳までを断たんとせしが如き、真の武士の為さんと欲して為す能はざる所であります。武士道はキリストの福音の如く敵を愛するがまでには至りませんが、敵を敬ひ、其正当の立場を重んじます。武士道の精神を以つてして、基督教教界に於て往々に見るが如き論争確執は到底之を為し得ません。「基督信者は全能の神の紳士である」と云ふに対して「武士は日本国特有の紳士である」と云ひ得ると信じます。

私供日本の基督信者の日常の生涯に於て、私供は大抵の場合に於て、聖書に行くまでもなく、私供の祖先伝来の武士道に由て私供の行路を定めて間違ないと思ひます。正義正道を歩む上に於て、義務責任を充たす上に於て、公明正大な点に於て、弱者を憐む事に於て武士道の命ずる所は基督教の教ゆる所と多く異なりません。そして基督信者なりと称する人々が、往々にして其為す所が武士道以下であるを見て、私は時々基督信者に対しても亦武士道鼓吹の必要あるを感じます。近頃の事でありました、静岡県^{よる}の或る信者が私に長文の手紙を送りて、彼の教会關係に就き如何に身を処して宜しき乎と私の意見を問ひました。私はその入りたる事情を知るに苦しみましたから、唯ハガキを以つて一言彼に答へました「日本人の武士道に由つてお決なさい」と。彼は之に対して直に答へて来ました「御端書正に拝見、^{ざんき}慚愧に堪へません、直に共通りに決めました」と。私は常に思ひ

ます、私供が聞かざるゝ多くの教会問題は此方法に由て解決すべきであると。

■ 武士道とキリスト教 / 3 2 卷 p.164-165 昭和4年7月10日 「聖書之研究」3 4 8 号

私は琵琶歌を愛する、其『那須与市』に
一筋の矢に百年の命をかける武士の意地

と云ふのがある、又『木村喜剣』に
武士に対する武士の礼

と云ふのがある。其他すべて此類である。其殺伐の詞は好まないが、其日本武士の清風霽月の心を歌うたる所は今日も猶ほ強く私の心を牽く、私は之を開くたびに思ふ、此心此情は一体何処から来たのである乎。日本人に是れあるは、其台湾樺太等等すべての領土よりも貴い、彼れ無くも可なり、是れ無かるべからずと。そして日本に於けるすべての善き事は此武士の道に由つて成つたのである。慶応明治の維新も、其の前の凡ての改革も此精神の結果である。そして近頃成つて明白になつた事は、我国に於て思ひしよりも早くキリストの福音が根を据えし理由は、武士が伝道の任に當つたからである。所謂熊本バンド、横浜バンド、札幌バンド、之に加はりし者の多数は武士の子弟であつた。彼等は孰れも武士の魂をキリストに献げて日本の教化を誓つたのである。そこに朝日に匂ふ山桜の香があつた。外国宣教師は之を見て驚いたのである。彼等は師は到底弟子に及ばざるを感じたのである。

■ BUSHIDO AND CHRISTIANITY 武士道と基督教 / 2 2 卷 p.161-162

大正5年1月10日「聖書之研究」1 8 6 号

BUSHIDO AND CHRISTIANITY

Bushido is the finest product of Japan. But Bushido by itself cannot save Japan. Christianity grafted upon Bushido will be the finest product of the world. It will save, not only Japan, but the whole world. Now that Christianity is dying in Europe, and America by its materialism cannot revive it, God is calling upon Japan to contribute its best to His service. There was a meaning in the history of Japan. For twenty centuries God has been perfecting Bushido with this very moment in view. Christianity grafted upon Bushido will yet save the world.

武士道と基督教

武士道は日本国最善の産物である。然し乍ら武士道其物に日本国を救ふの能力はない、武士道の台木に基督教を接いた物、其物は世界最善の産物であつて、之に日本国のみならず全世界を救ふの能力がある、今や基督教は欧州に於いて滅びつゝある。而して物質主義に囚はれたる米国に之を復

活するの能力が無い、茲に於てか神は日本国に其最善を献じて彼の聖業を扶くべく要求め給ひつゝある、日本国の歴史に深い世界的の意義があった、神は二千年の長きに渉り世界目下の状態に応ぜんがために日本国に於て武士道を完成し給ひつゝあつたのである、世界は畢竟基督教に由て救はるゝのである、然かも武士道の上に接木されたる基督教に由て救はるゝのである。

■ 武士道と宣教師 / 15 卷 p.431 明治41年4月10日 「聖書の研究」 98号

聞く真の武士道は敵に勝つるの道に非ず、人に対し自己を持するの道なりと、清廉、潔白、寛忍、宥怒、勝つも立派に勝、負けるも立派に負くるの道なりと云ふ、若し然らんには武士道の外国人宣教師由て伝へられし我国今日の基督教に優るや万々なり、宣教師的基督教は何よりも先ず、成功を欲望す、多数に信徒を作らんとし、大なる会堂を建てんとし、社会に勢力を植えんとす、聖く失敗する祝福の如きは其全然解し得ざる所なり、余輩はナザレのイエスの弟子として又日本武士として、外国人宣教師と其伝ふる宗教とに反対する者なり。

PAUL A SAMURAI. 武士の模範としてのパウロ / 25 卷 p.362-363 大正9年6月10日

「聖書之研究」239号

PAUL A SAMURAI.

PAUL a Jew and a disciple of Jesus the Christ, was a true samurai, the very embodiment of the spirit of Bushido. Said he: It were good for me rather to die, than that any man should make my glorying void. I Cor. IX, 15. He preferred death to dishonour, to dependency, to begging for whatever cause. Again he said: The love of money is the root of all evil. I Tim. VI, 10. Commercialism, in his view, was the cause of all evil, individual, social and national. Then, none was more loyal to his master than Paul was to his, not even Kusunoki Masashige. Independent, moneyhating, loyal, Paul was a type of old samurai, not to be found among modern Christians, both in America and Europe, and alas also in samurai's Japan.

武士の模範としてのパウロ

猶太人にしてイエスキリストの弟子なりしパウロは真正の武士にして武士道の精神を体現したる者であった、後は白ふた「我が誇る所を人に虚くせられんよりは寧ろ死るは我に善き事なり」と（哥林多前九章十五）彼は乞求依頼の恥辱を忍ばんよりは寧ろ死ん事を欲した、彼は又言ふた「財を慕ふは諸の悪事の根なり」と（提摩太前六章十節）彼の見る処に由れば今日所謂商業政策即ち商売根性は諸悪の原因であつて、個人を毒し社会を腐らし国家を亡す者であると、更に又パウロ程其主に対して忠なる人はなかつた、我楠正成と雖も其君に対してパウロがキリストに対して忠なり

しが如くに忠でなかつた、パウロは独立であつた、金銭を賤んだ、主に対して忠であつた、斯くて彼は古の武士の模範であつた、彼の如きは米国に於いては勿論の事、欧洲諸国に於ても、近代基督教信者の内に見る事が^{でき}ない、然り武士道の本場たる日本に於ても見る事が^{でき}ない。